



VOL.43

軽自動車のナンバー プレートの色について

このコーナーではクルマに関する
為になる雑学をご紹介します。
意外と知らないことがあるかも!?



普通車のナンバープレートの色が白なのに対して、軽自動車のナンバープレートの基本色は黄色。もともと黄色は目立つ色のため、軽自動車はナンバープレートだけがやたら目立ってしまいます。また、軽自動車のナンバープレートだけが黄色いことで、普通車と差別されているような気がしている方も少なくないでしょう。それを払拭するべく作られたのが軽自動車の白ナンバー。今では白ナンバーを付けた軽自動車も多く目にします。今回は軽自動車のナンバープレートについて解説していきたいと思います。

1



なぜ軽自動車のナンバーは黄色になったのか?

実は、昔の軽自動車のナンバープレートは白色でした。それが1973年10月から、軽自動車のナンバーは、白色から黄色に変更になりました。1972年に初代シビックのハッチバックが登場し、コンパクトな普通車と軽自動車の見分けがつきにくかったことが理由の1つと言われています。また、有料道路・高速道路の料金所の係員が見間違いのを防ぐためでもあります。理由はそれだけではありません。当時は、高速道路の最高速度が普通車と軽自動車で異なっていました。普通車の最高速度が100km/hなのに対して、軽自動車の場合は80km/hだったのです。そのため、スピード違反の取り締まりをする警察官が、普通車と軽自動車の区別がつくようにナンバーの色を分けたというのも理由の1つになっているようです。しかし、軽自動車の性能が向上したこともあり、2000年10月からは高速道路での軽自動車の最高速度は普通車と同じ100km/hになりました。そのため、高速道路でのスピード違反の取り締まりの際に、軽自動車と普通車を判別する必要はなくなったわけです。また、料金所の問題も、現在は9割以上のクルマがETCを利用しているといわれていますので、軽自動車に白色のナンバーを交付しても大きな問題は起こりにくいとの判断から、軽自動車用の白ナンバーの交付が決まったようです。



自家用軽自動車

大阪 589
ろ 20-25



寄付して頂く場合



寄付しない場合

↑ 大阪・関西万博特別仕様ナンバープレート。

2



白ナンバーってどんなもの?

『軽自動車の白ナンバー』というイメージがありますが、普通車用・事業用普通車用・軽自動車用と3種類があり、特別仕様のナンバープレートとして交付されています。2019年、日本で開催されるラグビーのワールドカップを記念して、2017年4月3日～2020年1月31日までの期間限定で、普通車・軽自動車共に、特別仕様のナンバーが交付されました。それを機に現在では「全国版図柄入りナンバープレート(期間限定)」、「地方版図柄入りナンバープレート(期限の定め無し)」、「大阪・関西万博特別仕様ナンバープレート(期間限定)」を取得することができます。交付料金は地域によって異なりますが、およそ7,000円～10,000円ほど。さらに1,000円以上の寄付をした人は、フルカラー版を選択して取得することができます。

3



軽自動車が白ナンバーになっても高速料金は大丈夫?

軽自動車のナンバープレートが普通車と同じ色になってしまった場合、高速道路の料金はしっかりと軽自動車の料金で計算されるのかどうか不安になる人もいるかと思います。結論から述べると、ETCの場合はまったく問題ないといえます。ETCであれば、クルマに装着されている車載器にナンバーの情報が登録されているため、ナンバーの色が変わっても不具合が起きることはありません。

ですが、問題なのはETCではなく有人の料金所を通過する際です。軽自動車はボディが小さいとはいえ、料金所の係員が車種に詳しくなければ、コンパクトカーなどの普通車と間違える可能性があります。1972年にハッチバックタイプのホンダシビックが登場した際は、料金所の係員が軽自動車と勘違いして安い料金で通行させてしまったという事例が多発したようです。現在の特別仕様ナンバーをつけた軽自動車も料金所で精算をする際には、これと逆のこと、つまり軽自動車なのに普通車の通行料金を請求される可能性は無きにしもあらず、ということです。

